

# 2013年度第3四半期決算説明資料

2014年1月30日

川崎重工業株式会社

# 目次

## I . 2013年度第3四半期連結決算の概要

◇ 第3四半期決算実績 サマリー	3
◇ 第3四半期決算実績 セグメント別	4
◇ 損益計算書の概要	5
◇ セグメント別決算実績	
船舶海洋	6
車両	7
航空宇宙	8
ガスタービン・機械	9
プラント・環境	10
モーターサイクル&エンジン	11
精密機械	12
◇ 貸借対照表の概要	13
◇ キャッシュ・フローの概要	14

## II . 2013年度業績見通し

◇ 連結受注高・売上高・利益見通し	15
◇ セグメント別通期業績見通し	16
◇ 研究開発費・設備投資・期末従業員数	17
<参考>	
2013年4月25日公表「中計2013」数量目標	18

# 第3四半期決算実績 サマリー

(億円)

	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	増 減
受 注 高	8,024	9,537	+1,513
売 上 高	8,858	9,208	+349
営業利益	229	460	+231
経常利益	314	387	+72
四半期純利益	193	232	+39

## 前年同期比

### 【受注高】

航空宇宙や車両等を中心に、すべてのセグメントで増加となった

### 【売上高】

プラント・環境や船舶海洋等で減収となったものの、モーターサイクル&エンジンや航空宇宙等が増収となったことにより、全体では増収となった

### 【利益】

航空宇宙、車両やモーターサイクル&エンジンの増益ないしは改善等により増益となった

売上加重 平均レート	ドル(¥/\$)	80.10	98.40
	ユーロ(¥/EUR)	103.00	131.43

# 第3四半期決算実績 セグメント別

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	増減	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	増減	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	増減
船舶海洋	429	546	+117	686	586	▲99	44	0	▲44
車 両	931	1,082	+151	941	979	+37	▲5	62	+68
航空宇宙	1,383	1,620	+236	1,658	1,871	+212	93	209	+115
ガスタービン・機械	1,316	1,409	+93	1,446	1,253	▲192	46	68	+22
プラント・環境	694	835	+140	711	584	▲126	37	8	▲28
モーターサイクル&エンジン	1,588	2,130	+541	1,588	2,130	+541	▲20	40	+60
精密機械	784	924	+139	938	849	▲89	48	71	+23
そ の 他	895	988	+92	887	953	+65	15	23	+8
調 整 額	-	-	-	-	-	-	▲29	▲25	+4
合 計	8,024	9,537	+1,513	8,858	9,208	+349	229	460	+231

注)「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

# 損益計算書の概要

<b>【営業損益】</b>	前年同期比	+	231	億円	(2012.3Q 229億円	⇒	2013.3Q 460億円)
・売上高		+	349	億円	( 8,858 億円	⇒	9,208 億円 )
・売上原価		▲	25	億円	( ▲7,483 億円	⇒	▲7,508 億円 )
・販売費および一般管理費		▲	92	億円	( ▲1,146 億円	⇒	▲1,239 億円 )
うち給料および手当		▲	25	億円	( ▲313 億円	⇒	▲339 億円 )
うち研究開発費		▲	1	億円	( ▲272 億円	⇒	▲273 億円 )
<b>【営業外損益】</b>	前年同期比	▲	158	億円	(2012.3Q 85億円	⇒	2013.3Q ▲ 73億円)
・金融収支(受取配当金を含む)		▲	7	億円	( ▲ 12 億円	⇒	▲ 19 億円 )
・持分法による投資利益		▲	30	億円	( 70 億円	⇒	40 億円 )
・為替差損益		▲	108	億円	( 17 億円	⇒	▲ 91 億円 )
・その他		▲	12	億円	( 9 億円	⇒	▲ 2 億円 )
<b>【特別損益】</b>	前年同期比	+	16	億円	(2012.3Q ▲ 16億円	⇒	2013.3Q 0億円)
・環境対策引当金繰入額		+	13	億円	( ▲ 13 億円	⇒	0 億円 )
・減損損失		+	2	億円	( ▲ 2 <sup>※</sup> 億円	⇒	0 億円 )
※ 一部の遊休資産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額した減損処理額							

# 船舶海洋

主要製品： LNG船、LPG船、VLCC、ばら積み運搬船、潜水艦、オフショア関連製品 (億円/各期の数値は累計)

## 当第3四半期実績

(前年同期比)

### 受注

LNG運搬船やLPG運搬船等5隻の受注により増加

### 売上

液化ガス運搬船の建造量が増加した一方、ばら積み船等の建造量の減少により減収

### 営業利益

受注工事損失引当金の新規繰入や修繕船他の減収等により減益

## 2013年度見通し

(10月公表比)

### 受注・売上

前回公表時から大きな変動はなく、見通しを据え置き

### 営業利益

受注工事損失引当金の繰入等により見通しを引き下げ

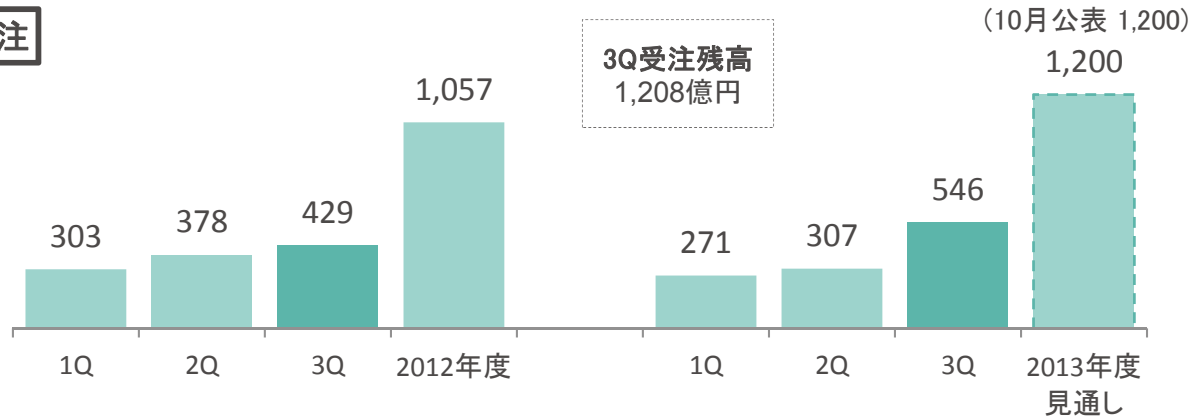
<新造船の受注・売上隻数>

(隻)

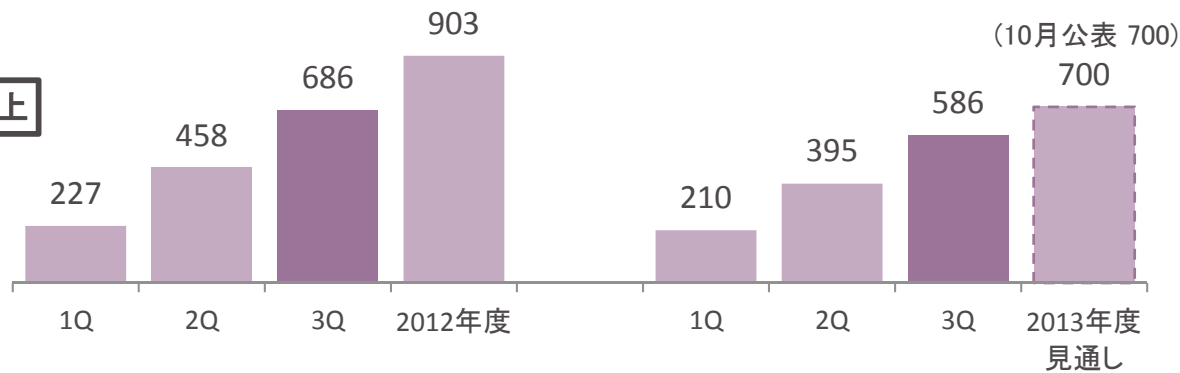
	受注(3Q累計)		売上(3Q累計)	
	2012年度	2013年度	2012年度	2013年度
LNG船	1	1	1(1)	3(2)
小型LNG船			1(1)	1(0)
LPG船	1	2	2(2)	2(1)
ばら積み運搬船	2	2	19(7)	6(2)
潜水艦			1(1)	2(2)
合計	4	5	24(12)	14(7)

注) 括弧内は進行基準売上(内数)

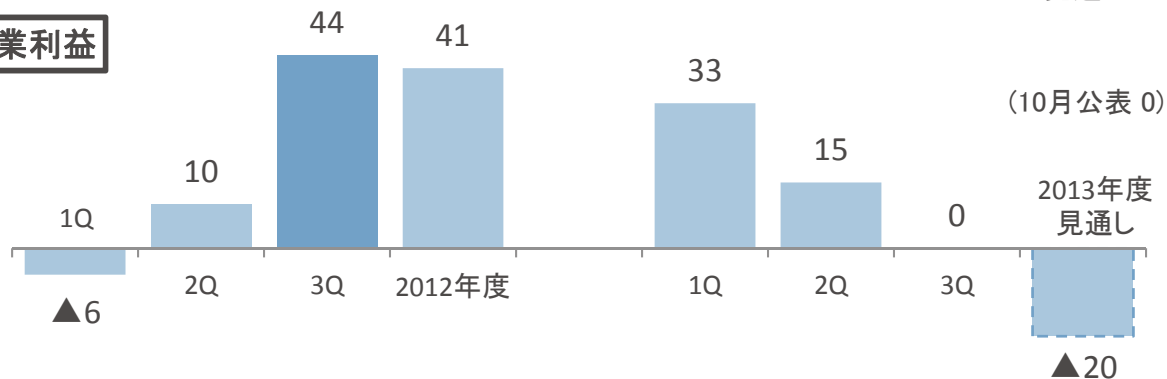
### 受注



### 売上



### 営業利益



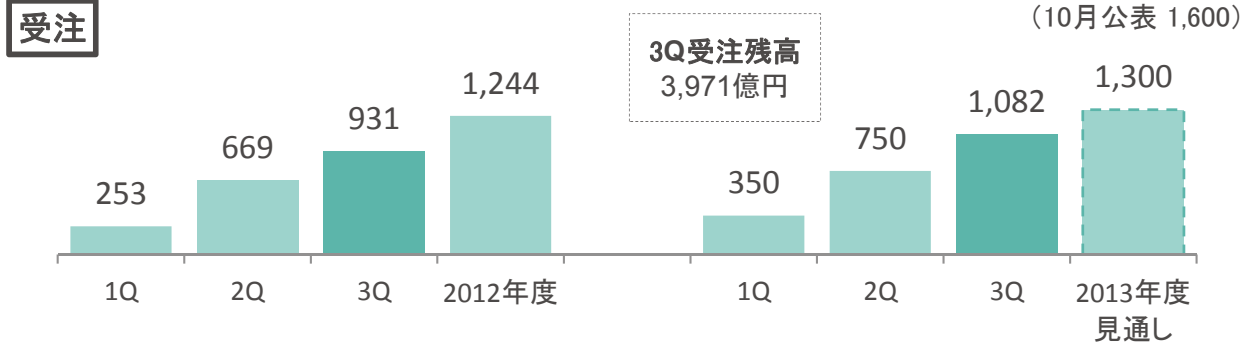
# 車 両

主要製品：各種電車(新幹線含む)、機関車、客車、ギガセル(二次電池)

(億円/各期の数値は累計)

## 当第3四半期実績

(前年同期比)

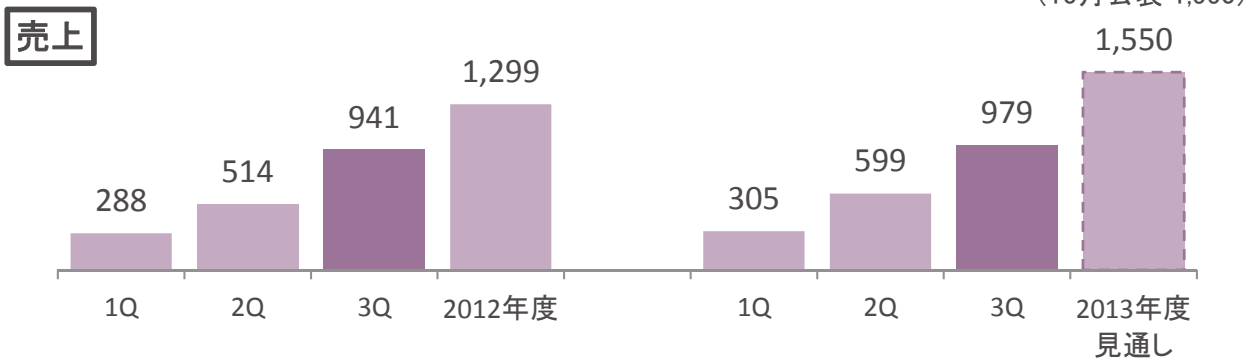


### 受注

ロングアイランド鉄道・メトロノース鉄道向け通勤電車、ワシントン首都圏交通局向け地下鉄電車および札幌市交通局向け地下鉄電車等の受注により増加

### 売上

国内向けの売上が減少したものの、シンガポールや北米などの海外向け売上が増加したこと等により増収



### 営業利益

高採算案件の増加や円安の影響により改善

## 2013年度見通し

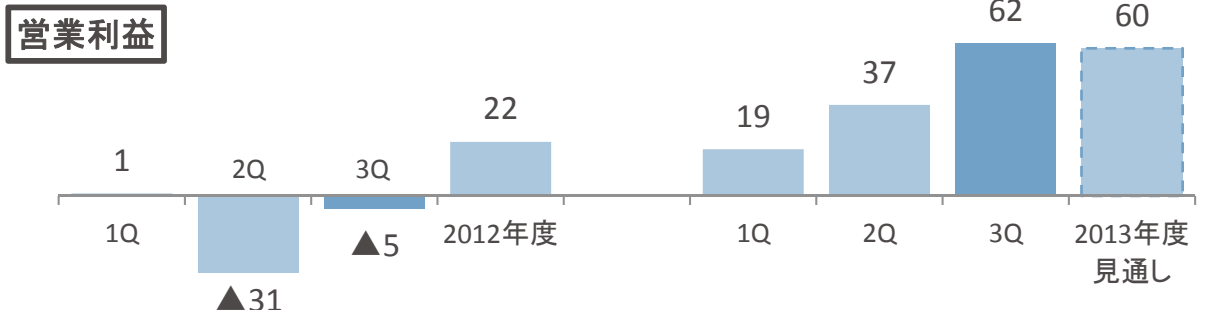
(10月公表比)

### 受注

一部案件の期ずれの影響等により見通しを引き下げ

### 売上・営業利益

前回公表時から大きな変動はなく、見通しを据え置き



# 航空宇宙

主要製品： 防需航空機、民需航空機分担製造品、民間向けヘリコプター、誘導機器・宇宙関連機器

(億円/各期の数値は累計)

## 当第3四半期実績

(前年同期比)

### 受注

ボーイング社向け787分担製造品の増加により増加

### 売上

ボーイング社向け777・787分担製造品や防衛省向けの売上が増加したこと等により増収

### 営業利益

増収や円安の影響により大幅な増益

## 2013年度見通し

(10月公表比)

### 受注

防需案件の増加等により見通しを引き上げ

### 売上

前回公表時から大きな変動はなく、見通しを据え置き

### 営業利益

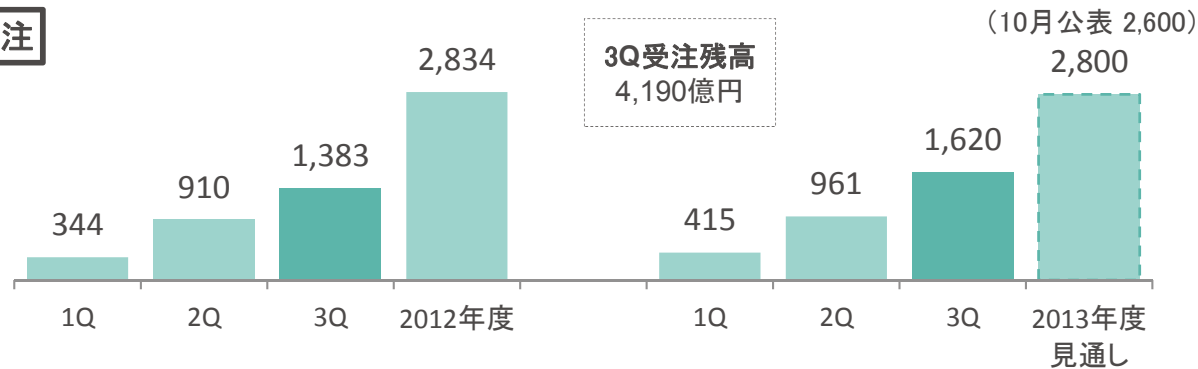
前提為替レートの見直し等により見通しを引き上げ

<民需分担製造品の売上機数>

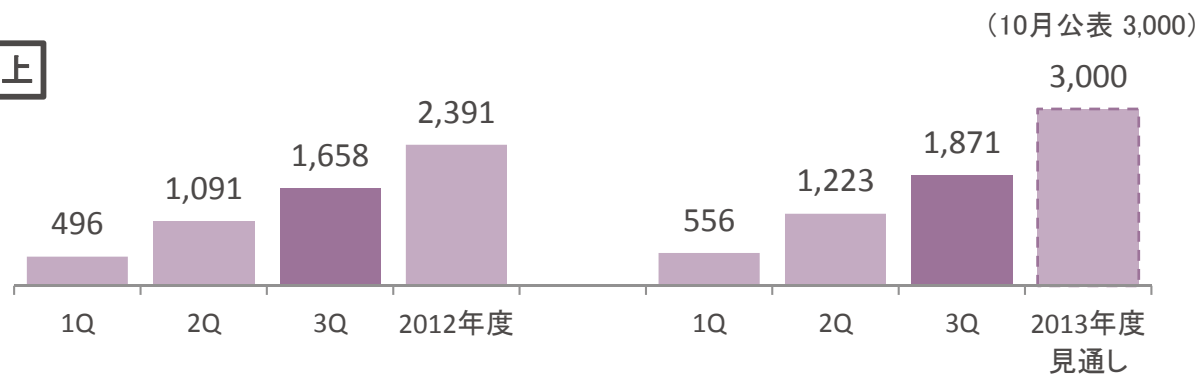
(機)

	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計
Boeing 777	66	75
Boeing 767	19	9
Boeing 787	41	55
Embraer170/175	11	35
Embraer190/195	55	32

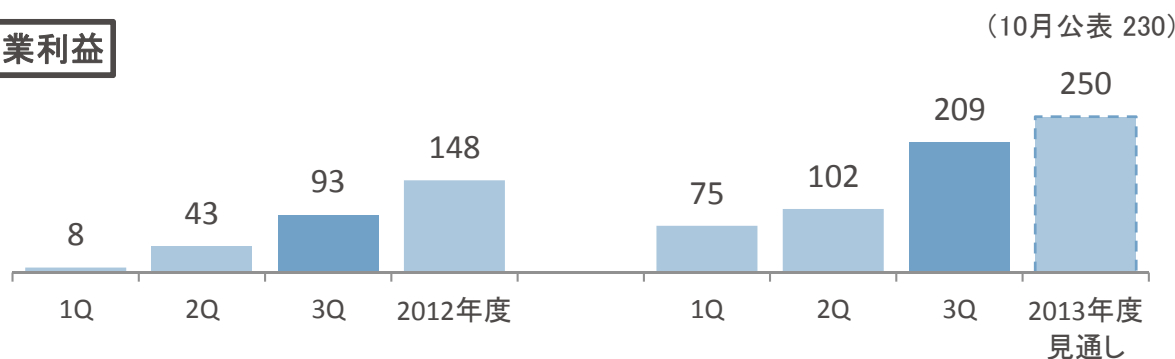
### 受注



### 売上



### 営業利益





# ガスタービン・機械

主要製品： 航空機用エンジン、産業用ガスタービン・コージェネレーション、  
ガスエンジン、ディーゼル機関、陸用・船用タービン、空力・水力機械

(億円/各期の数値は累計)

## 当第3四半期実績

(前年同期比)

### 受注

経理処理変更による減少の影響があったものの、ガスエンジンや水力機械などの受注増加、および経理処理変更による減少を除外した航空エンジン分担保製造品が実質的に増加していること等により増加

### 売上

航空エンジン分担保製造品の経理処理変更による減少分を除外すると、船用ディーゼル主機の減少はあったものの、航空エンジン分担保製造品およびガスエンジンの増加等により実質的には増収

### 営業利益

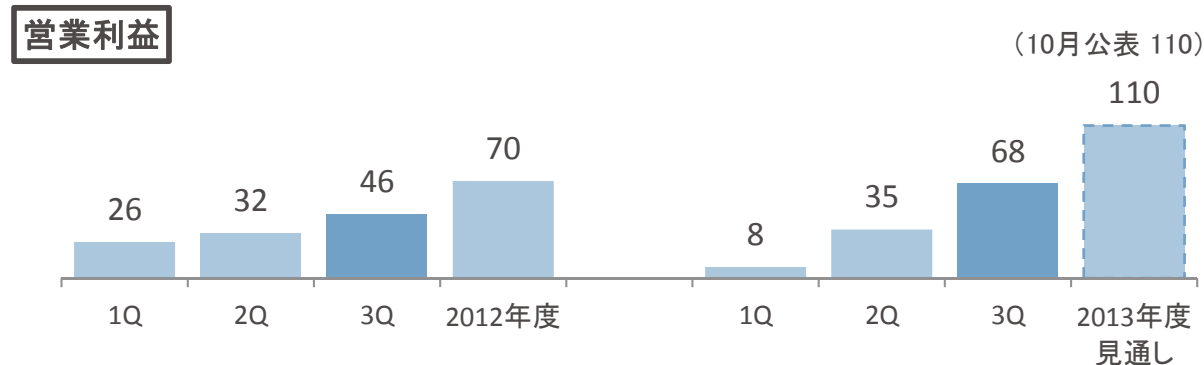
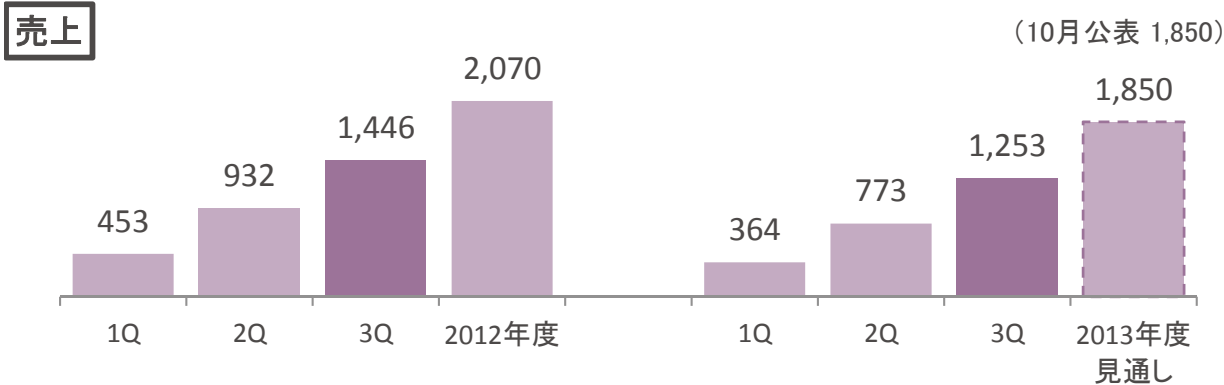
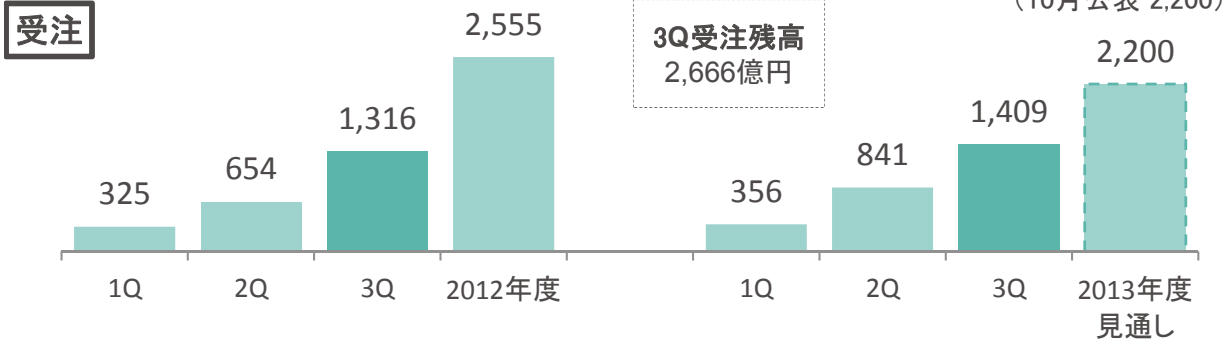
航空エンジン分担保製造品の経理処理変更による減少を除外した実質的な売上高が増加したこと等により増益

## 2013年度見通し

(10月公表比)

### 受注・売上・営業利益

前回公表時から大きな変動はなく、見通しを据え置き



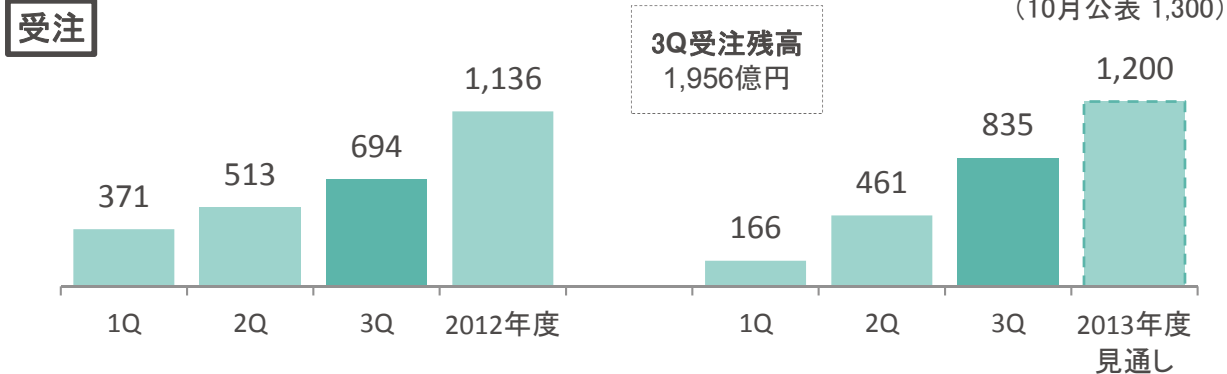
# プラント・環境

主要製品：産業プラント(セメント、肥料等)、発電プラント、LNGタンク、  
ごみ焼却プラント、トンネル掘削機、破碎機

(億円/各期の数値は累計)

## 当第3四半期実績

(前年同期比)



### 受注

台湾中油股份有限公司(CPC)台中港LNG受入貯蔵設備増設プロジェクト向けLNGタンク等の受注により増加

### 売上

環境装置案件が増加したものの、搬送設備や海外向け大型案件が減少したこと等により減収

### 営業利益

減収や利益率の低下等により減益

## 2013年度見通し

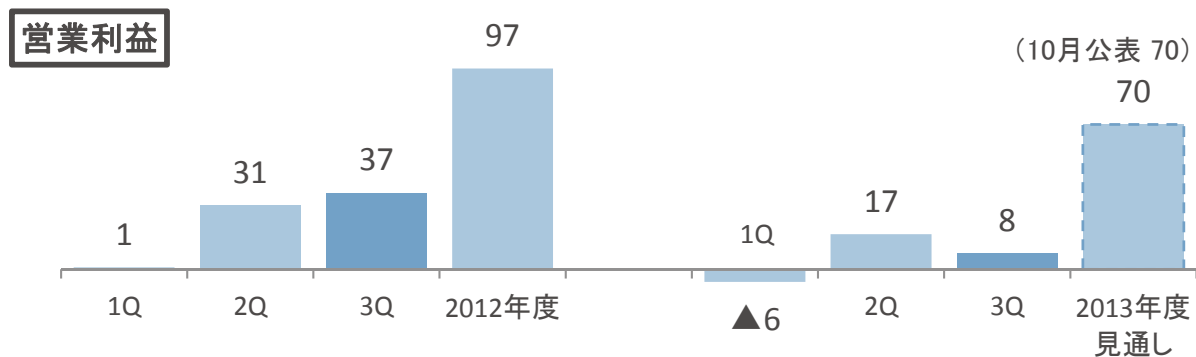
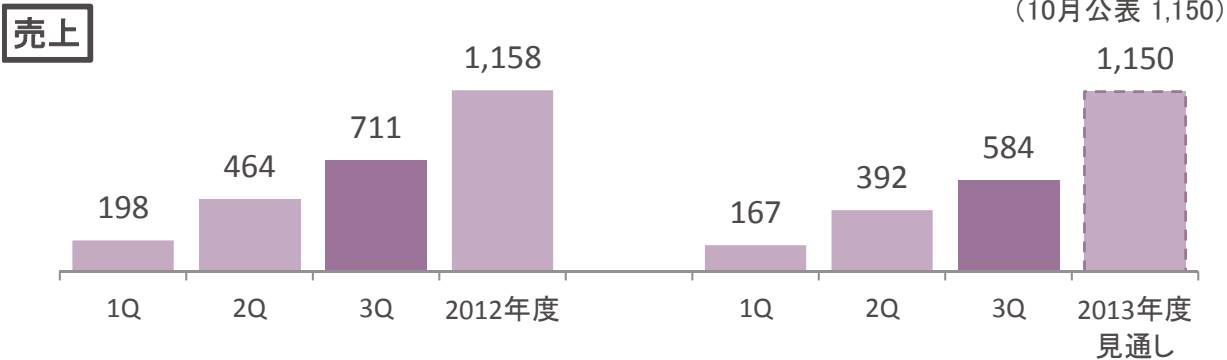
(10月公表比)

### 受注

一部案件の期ずれの影響等により見通しを引き下げ

### 売上・営業利益

前回公表時から大きな変動はなく、見通しを据え置き



# モーターサイクル&エンジン

主要製品： 二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、  
パーソナルウォータークラフト、汎用エンジン

(億円/各期の数値は累計)

## 当第3四半期実績

(前年同期比)

### 売上

米国向け、タイやインドネシアを中心とする新興国向け二輪車の増加等により増収

### 営業利益

増収および収益性の向上等により改善

## 2013年度見通し

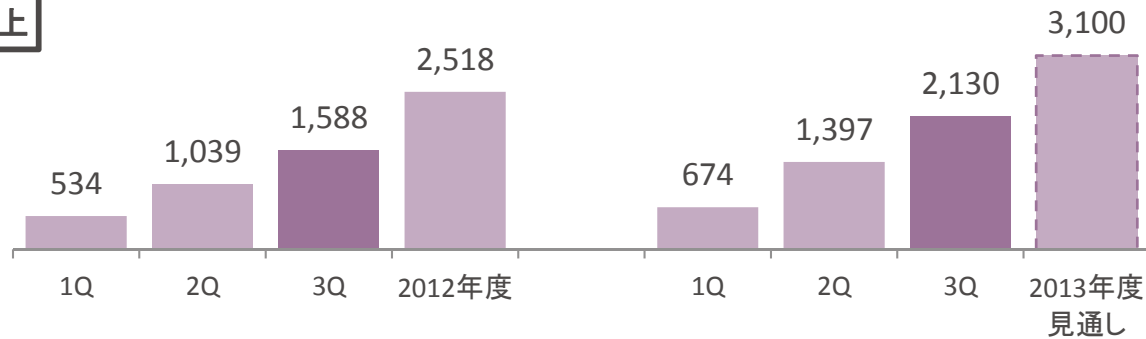
(10月公表比)

### 売上・営業利益

前提為替レートの見直し等により見通しを引き上げ

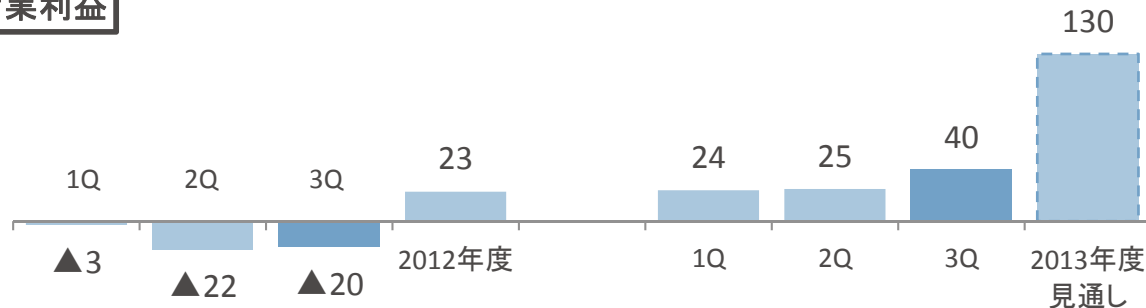
(10月公表 2,900)

## 売上



(10月公表 100)

## 営業利益



<コンシューマー向け製品 地域別売上(卸売)台数・金額>

(千台、億円)

	2012年度				2013年度			
	3Q累計		通期		3Q累計		通期見通し	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
国内	10	91	14	121	14	108	18	140
北米(カナダ含む)	73(46)	465	118(74)	797	80(47)	654	126(74)	974
欧州	30	212	55	385	27	247	52	436
新興国等	257	595	357	862	282	838	407	1,109
合計	370	1,363	544	2,165	403	1,847	603	2,659

注1)二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト  
(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。

注2)括弧内は二輪車分を示す。(内数)

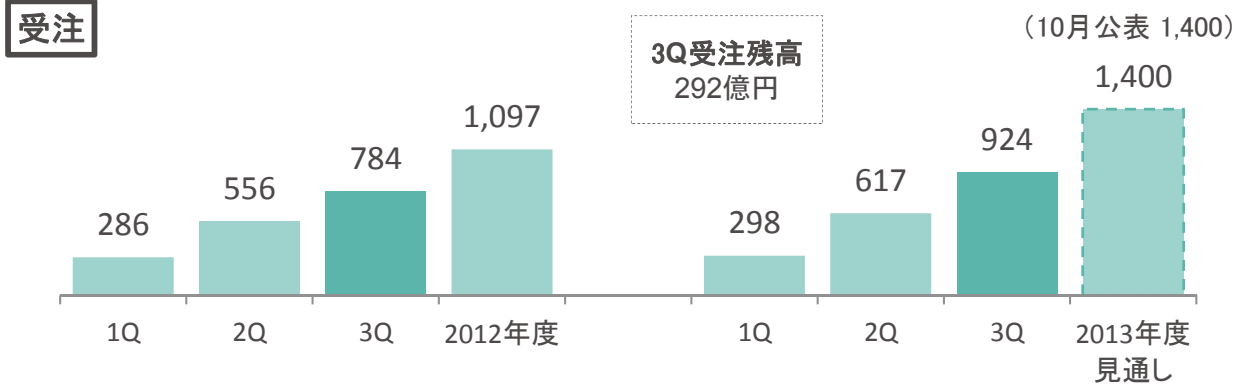
# 精密機械

主要製品：油圧機器（ポンプ・モーター・バルブ）、陸用油圧装置、船用油圧装置、  
精密機械・機電製品、産業用ロボット

（億円/各期の数値は累計）

## 当第3四半期実績

（前年同期比）



### 受注

自動車産業向けロボット、半導体製造装置向けクリーンロボットの増加等により増加

### 売上

半導体製造装置向けクリーンロボットや自動車産業向けロボットが増加したものの、油圧機器の減少等により減収

### 営業利益

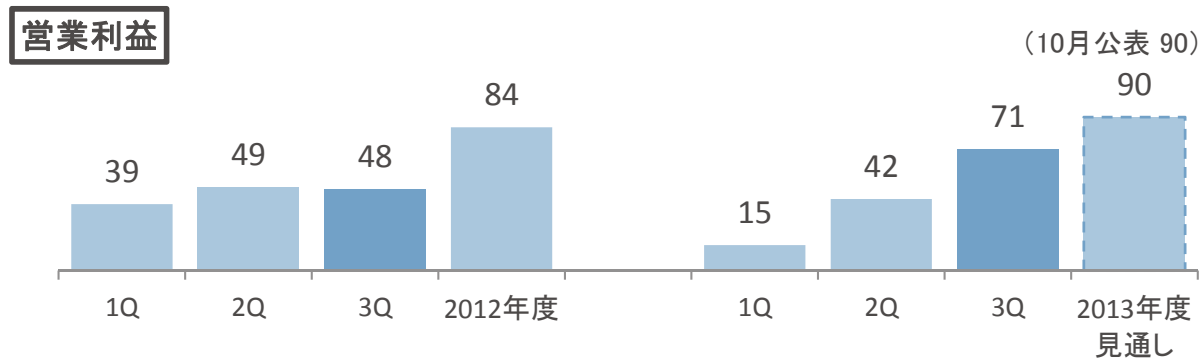
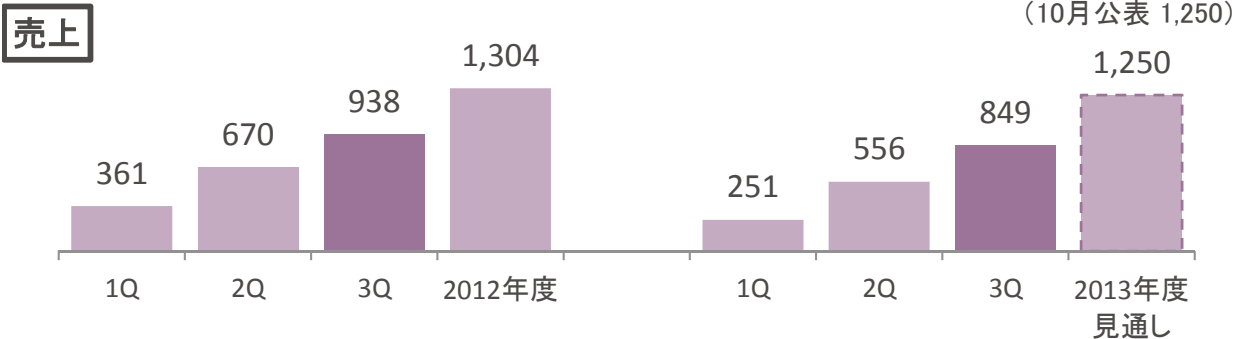
半導体製造装置向けクリーンロボットや自動車産業向けロボットの増収、円安の影響等により増益

## 2013年度見通し

（10月公表比）

### 受注・売上・営業利益

前回公表時から大きな変動はなく、見通しを据え置き



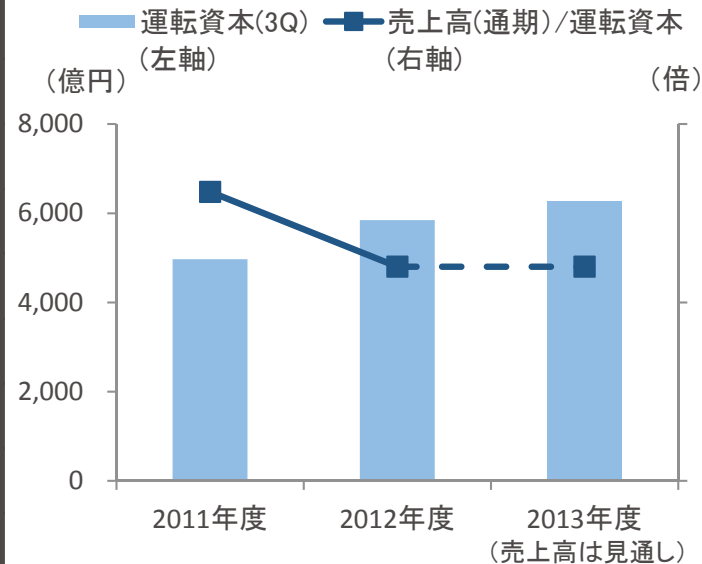
# 貸借対照表の概要

(億円)

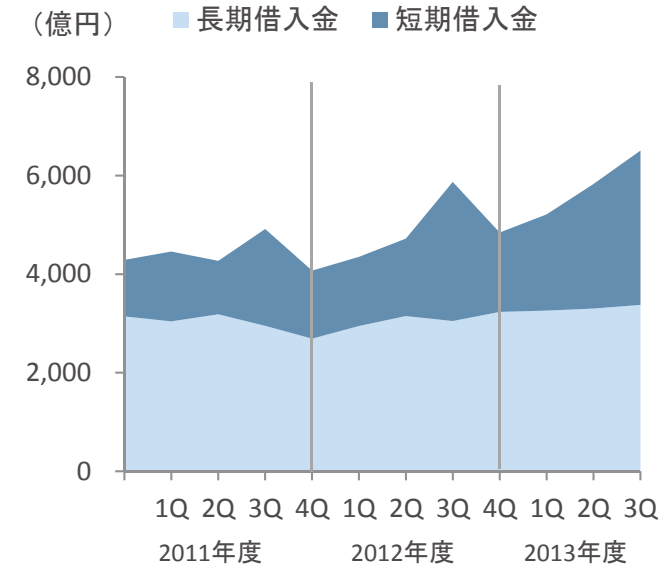
	2012年度 4Q末	2013年度 3Q末	増減
現預金	385	329	▲55
売掛債権	4,326	4,754	+428
棚卸資産	4,601	5,275	+674
有形・無形固定資産	3,252	3,860	+608
その他資産	2,097	2,513	+415
資産計	14,662	16,733	+2,071
買掛債務	2,810	2,696	▲114
借入債務	4,846	6,508	+1,662
前受金	1,082	1,325	+243
その他負債	2,424	2,680	+255
負債計	11,164	13,211	+2,047
株主資本	3,573	3,610	+36
その他純資産	▲74	▲87	▲12
純資産計	3,498	3,522	+23
負債・純資産計	14,662	16,733	2,071

自己資本比率	23.0%	20.2%
NET D/Eレシオ	131.9%	182.4%

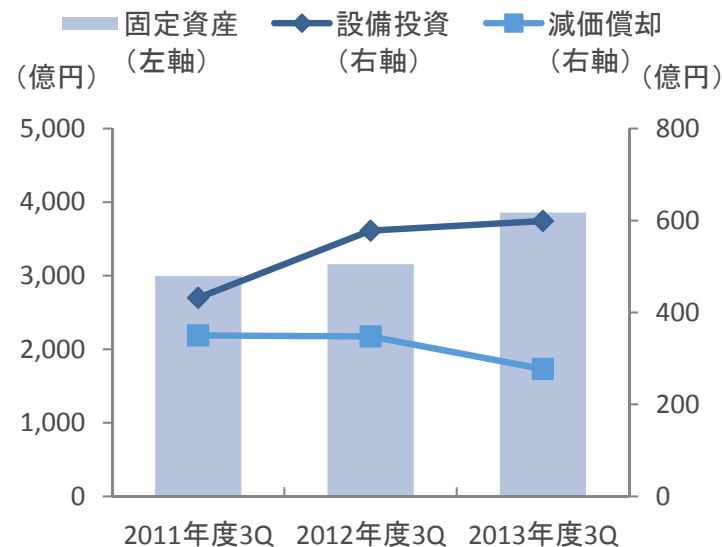
## 【運転資本の推移】



## 【有利子負債の推移】



## 【設備投資等の推移】



## 【貸借対照表の概況】

当四半期末の総資産は、手持ち工事の進捗に伴う棚卸資産の増加や設備投資による有形固定資産の増加などにより前期末に比べ増加。負債は、支払手形および買掛金の減少があったものの、有利子負債が増加したことや退職給付に係る未認識債務の計上により前期末に比べ増加。純資産は、配当金の支払や退職給付に係る未認識債務の計上はあったものの、四半期純利益の計上等により前期末に比べ増加。

# キャッシュ・フローの概要

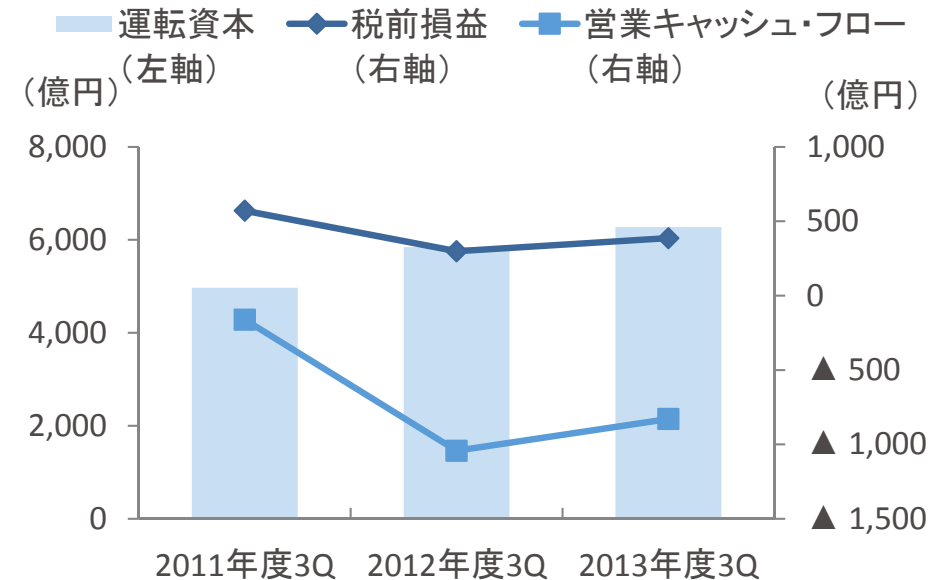
(億円)

	2012年度 3Q累計	2013年度 3Q累計	増減
営業キャッシュ・フロー	▲1,042	▲829	+213
投資キャッシュ・フロー	▲661	▲627	+33
フリーキャッシュ・フロー	▲1,703	▲1,456	+247
財務キャッシュ・フロー	1,684	1,418	▲266

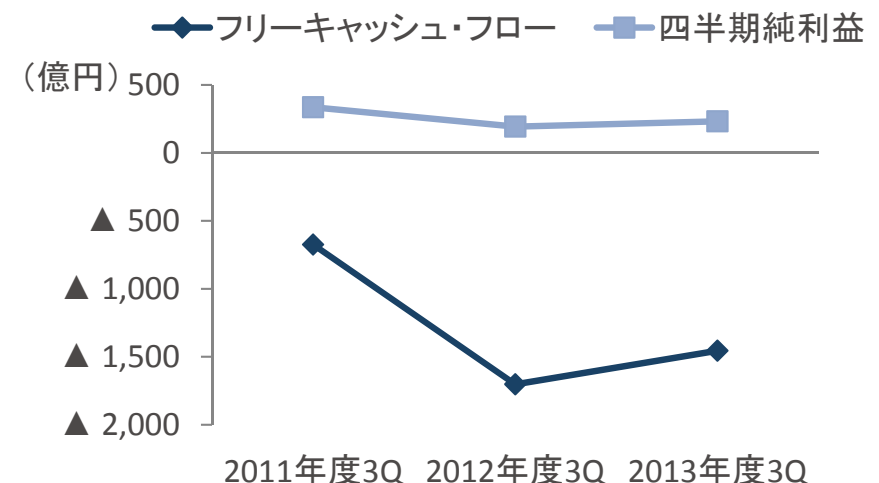
## 【キャッシュ・フローの概況】

当四半期の営業キャッシュ・フローは、売掛債権の増減による資金の獲得額が減少した一方、新規受注や工事進捗による前受金の獲得等により、前年同期に比べ資金の純減額が減少。設備投資による資金負担額が増加した一方、持分法適用会社への出資があった前年同期に比べ、投資活動に使用した資金は減少。この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べ増加。

## 【営業キャッシュ・フロー等の推移】



## 【フリーキャッシュ・フローと四半期純利益の推移】



# 連結受注高・売上高・利益見通し

(億円)

	2012年度 実績	2013年度見通し		増 減	
		10月公表	今回公表	前年度比	10月公表比
受 注 高	13,695	14,500	14,500	+805	0
売 上 高	12,888	13,800	14,000	+1,112	+200
営業利益	420	600	630	+210	+30
経常利益	393	530	530	+137	0
当期純利益	308	340	340	+32	0

## 10月公表比

### 【受注高】

車両およびプラント・環境は減少するものの、航空宇宙等での増加により、全体では前回公表値を据え置く

### 【売上高】

モーターサイクル&エンジンでの増収により見通しを引き上げ

### 【利益】

・営業利益は船舶海洋での減益はあるものの、航空宇宙およびモーターサイクル&エンジンでの増益により全体では見通しを引き上げ  
 ・経常利益および当期純利益については、為替ヘッジの実施等により影響は限定的となっていることから前回公表値を据え置く

売上加重 平均レート (実績/前提)	ドル (¥/\$)	82.86	95	100
	ユーロ (¥/EUR)	107.76	130	135

注) 前提レートは見通し公表時の為替エクスポージャーに対して適用

(参考) 為替影響額

1円の変動による影響額 (億円)

	営業利益	経常利益
ドル	10(13)	5(11)
ユーロ	1(2)	0(0)

※括弧内は10月公表時

## セグメント別通期業績見通し

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2012年度 実績	2013年度見通し		2012年度 実績	2013年度見通し		2012年度 実績	2013年度見通し	
		10月公表	今回公表		10月公表	今回公表		10月公表	今回公表
船舶海洋	1,057	1,200	1,200	903	700	700	41	0	▲20
車 両	1,244	1,600	1,300	1,299	1,550	1,550	22	60	60
航空宇宙	2,834	2,600	2,800	2,391	3,000	3,000	148	230	250
ガスタービン・機械	2,555	2,200	2,200	2,070	1,850	1,850	70	110	110
プラント・環境	1,136	1,300	1,200	1,158	1,150	1,150	97	70	70
モーターサイクル&エンジン	2,518	2,900	3,100	2,518	2,900	3,100	23	100	130
精密機械	1,097	1,400	1,400	1,304	1,250	1,250	84	90	90
そ の 他	1,251	1,300	1,300	1,242	1,400	1,400	12	40	40
調 整 額	-	-	-	-	-	-	▲80	▲100	▲100
合 計	13,695	14,500	14,500	12,888	13,800	14,000	420	600	630

注)「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む



# 研究開発費・設備投資・期末従業員数

※ 2013年10月29日公表値からの修正はありません

(億円・人)

		2012年度実績	2013年度見通し	増減
研究開発費		417	430	+13
設備投資※		786	1,010	+224
減価償却費		483	400	▲83
	国内	25,222	25,700	+478
	海外	8,788	9,200	+412
期末従業員数		34,010	34,900	+890

※ 有形固定資産および無形固定資産の増加額

# 〈参考〉2013年4月25日公表「中計2013」数量目標

(2015年度目標)

(億円)

	売上高	営業利益	営業利益率	税前ROIC
船舶海洋	1,350	60	4.4%	10.0%
車両	1,800	130	7.2%	15.3%
航空宇宙	2,700	200	7.4%	12.7%
ガスタービン・機械	2,500	130	5.2%	7.5%
プラント・環境	1,400	80	5.7%	15.0%
モーターサイクル&エンジン	3,000	150	5.0%	14.3%
精密機械	1,900	220	11.6%	26.3%
その他	1,350	▲70	▲5.2%	
合計	16,000	900	5.6%	11.0%

# 世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

## ご注意

本資料のうち、業務見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。